

時間	A会場 1121 果樹 I	B会場 1122 果樹 II	C会場 1223 果樹 III	D会場 2101 野菜 I	E会場 2102 野菜 II	F会場 マルチメディア 1 野菜 III
9:00	<p>遺伝育種(キウイ他)別府賢治</p> <p>果001 SCAR マーカーを用いたキウイフルーツ ‘レインボーレッド’ 交雑後代の雌雄判別 ○村上覚¹・片井秀幸²・種石始弘³(¹静岡農技研果樹研セ,²静岡農技研茶業研セ,³静岡農技研)</p>	<p>バイテク・生理活性物質 I 神崎真哉</p> <p>果021 充真剤 Diol を用いたフラッシュクロマト装置および HPLC によるタンパク質の分析・分取法 ○松原智子・米田基人・クルスアンドレフレイリ・石井孝昭(京都府立大院生命環境科学研究所)</p>	<p>リンゴ I 伴野 潔</p> <p>果045 赤果肉リンゴの効率的育種法 ○梅村ひとみ¹・前島勲²・小松宏光²・白武勝裕¹・松本省吾¹(¹名古屋大院生命農学研究科,²長野果樹試)</p>	<p>トマト I 岩崎泰永</p> <p>野001 閉鎖型苗によるトマトの簡易・一段密植養液栽培システムの確立と実証(第5報) 整葉一斉斜め誘引法による労働生産性の向上 ○山田圭太¹・高橋宏治²・小松亜美²・椎名宏太¹・佐藤博之¹・板木利隆³(¹JA 全農営技セ,²(株) 全農ビジネスサポート,³板木技術士事務所)</p>	<p>マーカー/イチゴ I 彦坂晶子</p> <p>野023 SSR マーカーを利用したアスパラガス多胚種子の起源解析 ○竹内陽子¹・小佐々雅子¹・尾崎行生²・大久保敬²(¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究科)</p>	<p>育種(ナス・トウガラシ) 三村 裕</p> <p>野047 単為結果性を有する長ナス新品種 ‘佐賀 N1 号’ の育成 ○木下剛仁・石橋泰之・西美友紀・中島寿亀(佐賀農試研セ)</p>
9:15	<p>果002 キウイフルーツおよびサルナシの種内および種間交配で得られた実生の遺伝的分析 ○黒田和宏¹・福嶋宏史¹・酒井かおり²・若菜章²(¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究院)</p>	<p>果022 リンゴ実の初期成長および形態形成に関わる遺伝子の発現解析 ○東克行¹・池田和生²・西谷千佳子³・寺上伸吾³・山本俊哉³・村山秀樹²・板井章浩¹(¹鳥取大農学部,²山形大農学部,³農研機構果樹研)</p>	<p>果046 リンゴ台木連鎖地図における領域マッピングセット作成と挿し木発根性 QTL 座位置の推定 ○森谷茂樹¹・岩波宏¹・土師匠¹・岡田和馬¹・寺上伸吾²・山本俊哉²・阿部和幸¹(¹農研機構果樹研(盛岡),²農研機構果樹研)</p>	<p>野002 移動式トマト一段密植栽培に関する研究(第1報) 灌漑システムの開発と生育段階にあわせたベンチ間隔の検討 ○金子壮¹・児玉番苗²・丸尾達¹・篠原温¹・淨閑正史¹(¹千葉大院園芸学研究所,²千葉大院園芸学部)</p>	<p>野024 キュウリにおける連鎖解析用マーカーセットの選定およびメロン黄化えそウイルス病抵抗性遺伝子のマッピング ○吹野伸子¹・杉山充啓¹・坂田好輝²・松元哲¹(¹農研機構野菜茶研,²農研機構九冲農研)</p>	<p>野048 半身萎凋病・青枯病複合抵抗性ナス系統の育成(2010) ○齊藤延雄・松永啓・斎藤新(農研機構野菜茶研)</p>
9:30	<p>果003 ニホンギリとモーパングリの種間雑種を用いた遺伝学的連鎖地図の構築 ○佐々木道康¹・高津康正²・麗正一^{2,3}・本間貴司¹・原弘道⁴・東尾久雄¹・井上栄一¹(¹茨城大農学部,²茨城大農工研,³茨城鹿島特産指導所,⁴元茨城大農学部)</p>	<p>果023 レーザーマイクロダイセクションを用いた大果変異セイヨウナシの開花期における花床部のマイクロアレイ解析 ○奈島賢児¹・山本俊哉²・西谷千佳子²・清水徳朗²・板井章浩³・中園幹生^{1,4}・高橋宏和⁴・五十鈴川寛司⁵・高品善⁵・花田俊男⁵・森仁志¹・及川彰⁶・白武勝裕¹(¹名古屋大院生命農学研究科,²農研機構果樹研,³鳥取大農学部,⁴東京大院農学生命科学研究科,⁵山形農総研七園試,⁶理研植物科学センター)</p>	<p>果047 γ線照射花粉を受粉に用いた場合のリンゴの受精と胚発育過程 曹秋芬¹・孟玉平¹・加藤藍²・村松昇³・山本俊哉⁴・佐藤守⁵・和田雅人⁴・壽松木章⁶・渡邊学⁷・小森貞男⁶(¹山西省農業科学院生物技术研究所,²岩手大院農学研究科,³生資研放育場,⁴農研機構果樹研,⁵福島農総七園試,⁶岩手大農学部,⁷岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ)</p>	<p>野003 トマト I 一段密植栽培における異なる生育ステージの補充処理が果実の収量と品質に及ぼす影響 ○晏娜¹・丸尾達¹・篠原温¹・淨閑正史¹(千葉大院園芸学研究所)</p>	<p>野025 イチゴ循環選抜集団における炭疽病抵抗性遺伝子の存在について ○山田朋宏¹・片山貴雄²・野口裕司¹(¹農研機構野菜茶研,²福岡農総試)</p>	<p>野049 促成栽培用の紫色シントウガラシ「試交 P1 号」の育成 ○澤田博正¹・鍋島裕和¹・吉本江利^{1*}・細美祐子¹・松本満夫^{1*}・宮崎清宏¹・片岡明彦^{2*}(¹高知農試,²須崎農業振興セ,³高知果庁,⁴牧野植物園)</p>
9:45	<p>遺伝育種(カキ) 板井章浩</p> <p>果004 カキ果実における ABA シグナルを介したプロアントシアニン蓄積制御の分子機構 ○赤木剛士¹・辻本誠幸¹・米森敬三(京都大院農学研究科)</p>	<p>果024 大果変異セイヨウナシのメタボローム解析(第2報) 経時変化解析 ○及川彰¹・大家貴生¹・中林亮¹・軸丸裕介¹・山口信次郎¹・高品善²・五十鈴川寛司²・村山秀樹³・斎藤和季^{1,4}・白武勝裕⁵(¹理研 PSC,²山形農総研七園試,³山形大農学部,⁴千葉大院薬学研究所,⁵名古屋大院生命農学研究科)</p>	<p>果048 採花時期と低温処理が薬培養由来 DH 系統の開花率および花粉発芽率に及ぼす影響 ○山口奈々子¹・岡田初彦²・大橋義孝¹・佐藤幸¹・山本俊哉³・小森貞男⁴(¹福島農総七園試,²県北農林伊達普,³農研機構果樹研,⁴岩手大農学部)</p>	<p>野004 トマトの3段階新栽培様式の標準温度変換日数法による栽培体系の最適化 ○藤尾拓也¹・佐々木裕二¹・小田山雅(岩手農研セ)</p>	<p>野026 薬培養によるイチゴ半数体の標準温度変換日数法による栽培体系の最適化 ○内村要介¹・佐伯由美¹・平島敬太(福岡農総試, 飯塚農改普セ)</p>	<p>野050 甘トウガラシの機能性を高める育種素材の評価 ○小西あや子¹・松島惠一²(¹京都農試生食資セ,²信大院農学)</p>
10:00	<p>果005 カキの甘渋性制御遺伝子(4ST) のマッピング ○辻本誠幸¹・赤木剛士¹・河野淳²・三谷宣仁²・佐藤明彦²・米森敬三¹(¹京都大院農学研究科,²農研機構果樹研)</p>	<p>バイテク・生理活性物質 II 白武勝裕</p> <p>果025 マンゴ ‘Irwin’ の花成関連遺伝子の発現に及ぼす温度の影響 ○中川正博¹・志水恒介²・神崎真哉¹・本勝千歳³・文室政彦²・宇都宮直樹¹(¹近畿大農学部,²近畿大附属農場,³宮崎大農学部)</p>	<p>リンゴ II 渡邊 学</p> <p>果049 SSR マーカーによるリンゴ新品種 ‘岩手 7 号’ の交配親同定 ○高山隆幸¹・森谷茂樹²・本多親子²・白井紀子^{1*}・奥平麻里子^{1**}(¹岩手農研セ,²農研機構果樹研(盛岡),[*]岩手生工研セ,^{**}岩手県農林水産部)</p>	<p>トマト II 田中哲司</p> <p>野005 温度統合(Temperature Integration) の概念を活用したトマトの省エネルギー温度管理方法の実用性 ○吉田剛¹・後藤晶子¹・木野本真沙江¹・根岸直人(栃木農試)</p>	<p>イチゴ II 野口裕司</p> <p>野027 日本原産二倍体イチゴおよび <i>Fragaria vesca</i> の類縁関係に関する GISH 解析 ○新居秀将¹・柳智博¹・Nathwet Preeda²・曾根一純³(¹香川大農学部,²Fac. Agri., Maejo Univ.,³農研機構九冲農研)</p>	<p>育種 (ピーマン・キュウリ) 岩本英伸</p> <p>野051 ピーマンおよびトウガラシにおける各種ネコブセンチュウ種を用いた抵抗性の評価 ○杉田亙¹・大田哲史¹・岩堀英晶²・上杉謙太²・長田龍太郎¹(¹宮崎農試,²農研機構九冲農研セ)</p>
10:15	<p>果006 カキの甘渋性識別 SCAR マーカーを利用した完全甘ガキの選抜 ○三谷宣仁¹・河野淳¹・山田昌彦¹・神崎真哉²・佐藤明彦¹・小林省藏¹・伴雄介^{1*}・上野俊人^{1*}・白石樹夫^{1**}・赤木剛士³・辻本誠幸³・米森敬三³(¹農研機構果樹研,²近畿大農学部,³京都大院農学研究科,[*]山梨果樹試,^{**}福岡農総試)</p>	<p>果026 アーバスキュラー菌根菌は宿主から細胞核を奪い、その多様性を高める ○石井孝昭¹・松原智子¹・米田基人¹・クルスアンドレフレイリ(京都府立大院生命環境科学研究所)</p>	<p>果050 クラス B 遺伝子抑制開花促進リンゴの解析 ○和田雅人¹・耳田直純²・田中紀光³・守谷(田中)友紀¹・小森貞男²・岩波宏¹・本多親子¹(¹農研機構果樹研,²岩手大農学部,³弘前大農学生命)</p>	<p>野006 トマト夏秋どり栽培における夜間冷房の効果 収量と電力消費量について ○岩崎泰永¹・吉田千恵²・相澤正樹²(¹農研機構野菜茶研,²宮城農総研)</p>	<p>野028 <i>Fragaria chiloensis</i> L. CHI-24-1 の24時間日長条件下における花芽誘導の活性波長 ○柳智博(香川大農学部)</p>	<p>野052 ラオスにおける野菜遺伝資源の共同探索, 2009年 ○松永啓¹・杉山充啓¹・田中克典²・Chanthanom DEUANHAKSA³(¹農研機構野菜茶研,²総合地球環境研,³ラオス稲作物研セ)</p>

G会場 マルチメディア2 野菜IV	H会場 1253 花きI	I会場 1353 花きII	J会場 1341 花きIII	K会場 3105 利用I	時間
<p>栽培(その他1) 辻 顕光</p> <p>野 070 ジネンジョ栽培ほ場におけるジベレリン処理濃度、処理開始時期および間隔がむかご着生量および新芋肥大に及ぼす影響 ○番香宏¹・平野哲司¹・坂下健¹・吉田康徳²(¹愛知農総試山岡,²秋田県大生物資源科学部)</p>	<p>繁殖 大城 閑</p> <p>花 001 ラン科希少種の人工増殖に関する研究 6. エピネ属サクラジマエピネの非共生培養法による完熟種子の発芽と幼植物体形成 ○三吉一光¹・遊川知久²・山崎旬³(¹秋田県大生物資源科学部,²科博・筑波実験植物園,³玉川大農学部)</p>	<p>遺伝子解析3 細川宗孝</p> <p>花 022 CPPU処理したトレニアで発生する副花冠の形態的特徴とホモオティック遺伝子の発現パターン解析 ○仁木智哉¹・平井雅代^{2*}・菅野明²・仁木朋子¹・西島隆明¹(¹農研機構花き研,²東北大院生命科学研究所,[*]北海道大院農学研究科)</p>	<p>開花生理 住友克彦</p> <p>花 042 生殖成長期の高温がキク‘秋風’の開花および花序の大きさに及ぼす影響 ○興津敏広・本間義之(静岡農林研)</p>	<p>機能性・ポリフェノール 小川一紀</p> <p>利 001 ブルーベリー類のインフルエンザウイルス吸着阻害活性とポリフェノール含量 ○関澤春仁¹・生田和史²・鍋谷達夫²(¹福島農総セ,²福島医大医学部)</p>	9:00
<p>野 071 遮光被覆資材が金時草(<i>Gynura bicolor</i>)の生育に及ぼす影響 ○吉秋斎¹・村濱稔¹・渡辺舞²・山田幸信¹(¹石川農総研,²石川県農林)</p>	<p>花 002 ユウカリ・グロブラス挿し穂の調製および化学的処理による発根促進 ○井本洋輔・手塚孝弘・箕作和彦・山崎識知・田中秀幸・小田雅行(大阪府立大院生命環境科学研究科)</p>	<p>花 023 トレニアにおける易変性変異体の誘発とその形質 ○西島隆明・森田裕将・佐々木克友・中山真義・山口博康・大坪憲弘・仁木智哉・仁木朋子(農研機構花き研)</p>	<p>花 043 間欠冷房処理によるコショウランの花茎発生及び開花(第1報) ○小川理恵・稲吉由佳・大石一史(愛知農総試)</p>	<p>利 002 タンパク質の違いが人工胃液中のカキタンニン-タンパク質複合体からのカキタンニン遊離程度に及ぼす影響 ○鶴永陽子¹・高林由美²・橋原絢香²・羽田真野子²・横枕良美²・徳永瑞貴²(¹鳥根大教育学部,²広島文教女子大人間科学部)</p>	9:15
<p>野 072 異なる濃度および期間の塩処理によるアイスプラントの機能性成分-糖アルコール含量の動態 ○高橋大喜・松本裕史・中松建・西原英治(鳥取大院農学研究科)</p>	<p>花 003 山口県育成ユリ‘プチソレイユ’の球根の温湯浸漬がりん片子球形成に及ぼす影響 ○光永拓司・藤田淳史・福光優子(山口農総技セ)</p>	<p>花 024 ペチュニア園芸品種(<i>Petunia × hybrida</i>)にピコティ形質を付与する低分子RNAの解析 ○森田裕将¹・伴雄介^{1*}・吉川学²・土生芳樹²・中山真義¹(¹農研機構花き研,²生資研,農研機構果樹研)</p>	<p>花 044 ファレノプシスの花蕾の発育ステージは花序の発達に影響する ○後藤綾香¹・穴見佳奈恵¹・窪田聡¹・堀本大雅²・腰岡政二¹(¹日本大生物資源科学部,²日本大院生物資源科学研究所)</p>	<p>利 003 加熱によるカリンポリフェノールの組成変化とその吸収利用率への影響 ○中村和敏・濱渦康範(信州大院農学研究科)</p>	9:30
<p>野 073 サトイモにおける種芋の切断が出芽、生育および収量に及ぼす影響 ○池澤和広・福元伸一(鹿児島農総セ大隅)</p>	<p>花 004 山口県育成ユリ‘プチソレイユ’の温湯・冷蔵処理が鱗片内の糖の動態に及ぼす影響 ○平田翔¹・堂之下歩美¹・光永拓司²・山内直樹¹・執行正義¹(¹山口大農学部,²山口県農総技セ)</p>	<p>花 025 光質がペチュニアの花成関連遺伝子の発現に及ぼす影響 ○塚本敦子¹・平井正良¹・三位正洋²・秋廣高志³・Olsen E. Jorunn⁴・江面浩¹・福田直也¹(¹筑波大生命環境科学研究科,²千葉大院園芸学研究所,³鳥根大生物資源科学部生物科,⁴Norwegian University of Life Sciences)</p>	<p>収穫後生理1 市村一雄</p> <p>花 045 数種エキウム属植物を蜜源としたハチミツの生産性と品質評価 ○土橋豊¹・新宅賀洋¹・田中祥子¹・伊藤弘顕²・東順一³(¹甲子園短大生活環境学科,²甲子園短大,³京都大院農学研究科)</p>	<p>利 004 長野県在来品種‘ぼたんこしょう’(<i>C. annuum</i>)果実中のアスコルビン酸・グルタミン酸・糖類含量 ○野中大樹・松島憲一・南峰夫・根本憲一・濱渦康範(信州大院農)</p>	9:45
<p>栽培(その他2) 吉秋 斎</p> <p>野 074 家畜ふん堆肥中の肥料成分を活用した施肥が露地野菜の収量および土壌化学性の変動に及ぼす影響 ○遠藤昌伸¹・佐藤淳¹・竹田宏行¹・小柳渉²(¹新潟農総研園研セ,²新潟農総研畜研セ)</p>	<p>育種1 三吉一光</p> <p>花 005 ニホンズイセン(<i>Narcissus tazetta var. chinensis</i>)を子房親とした種間雑種の作出(第1報)交雑胚の培養法の確立 ○堀恵美子¹・池田郁美²・坂本浩¹・前田和則¹・大城関³(¹福井園試,²福井嶺南振興局,³福井県立大生物資源)</p>	<p>花色1 山岸真澄</p> <p>花 026 芳香シクラメン‘香りの舞い’(<i>Cyclamen persicum</i> × <i>C. purpurascens</i>)におけるアントシアニンメチル基転移酵素の解析 ○秋田祐介¹・北村智¹・長谷純宏¹・鳴海一成¹・石坂宏²・近藤恵美子²・亀有直子²・中山真義³・谷川奈津³・森田裕将²・田中淳¹(¹原子力機構,²埼玉農総研七園研,³農研機構花き研)</p>	<p>花 046 スクロース、トレハロースおよびバリダマイシンA処理がアスチルベ切り花の日持ち、呼吸量、糖含量および品質に及ぼす影響 ○ピリアヌエバエベリン・山根健治・プラナチャイラット・八巻良和(宇都宮大農学部)</p>	<p>品質成分 濱渦康範</p> <p>利 005 庄内地域の柿の葉における成分と品種間差 ○富田淳美¹・伊藤聡子²・及川彰^{1,3}(¹慶應大IAB,²山形庄内農技普産地研,³理研PSC)</p>	10:00
<p>野 075 窒素施肥量と紫外線照射がブルビエ(タチスベリヒユ)の有用成分含量に及ぼす影響 ○北尾麻希子¹・林孝洋¹・中川正博¹・宇都宮直樹¹・富研一²・中村志朗³・吉田宗久³・笹岡元信⁴・市ノ木宗次⁴・吉見孝則⁴・島田知浩⁴(¹近畿大農学部,²京都大院農学研究科,³奥村組土木興業(株),⁴三見精機(株))</p>	<p>花 006 ニホンズイセン(<i>Narcissus tazetta var. chinensis</i>)を子房親とした種間雑種の作出(第2報)種間雑種の特性とRAPDマーカーによる交雑検定 ○井村亮介¹・大城関¹・堀恵美子²・坂本浩²(¹福井県立大生物資源学部,²福井園試)</p>	<p>花 027 シクラメンの白色花発現機構 ○岡田翔・鳴海貴子・深井誠一・高村武二郎(香川大農学部)</p>	<p>花 047 貯蔵中のスクロース処理がカーネーション切り花の品質およびアントシアニン生成成関連遺伝子発現に及ぼす影響 ○吉元洋六・鳴海貴子・高村武二郎・深井誠一(香川大農学部)</p>	<p>利 006 イチジク葉の成分に及ぼす品種・葉齢・季節・加工の影響 ○高橋徹・沖浦文(東洋食品研究所)</p>	10:15

第1日 3月20日(日) 10:30～12:00

時間	A会場 1121 果樹 I	B会場 1122 果樹 II	C会場 1223 果樹 III	D会場 2101 野菜 I	E会場 2102 野菜 II	F会場 マルチメディア I 野菜 III
10:30	<p>遺伝育種(ナシ) 齋藤寿広</p> <p>果007 ニホンナシ新品種‘南農ナン4号’(品種登録申請名:‘サザンスイート’)の特性について ○小仁所邦彦¹・小野剛史¹・今川昌平¹・船橋徹郎²・中山利明¹(¹長野南信農試,²長野果樹試)</p>	<p>果027 バラ科サクランボ属における自家不和合性花粉側因子SFBと相互作用するSkp1の解析 ○松本大生・田尾龍太郎(京都大院農学研究所)</p>	<p>果051 新品種・系統・3倍体品種の後代を含むリンゴS遺伝子型データベース ○松本省吾¹・岡田和馬²・小嶋明日香¹・大川敏生³・白武勝裕¹・阿部和幸² (¹名古屋大院生命農学研究科,²農研機構果樹研,³名古屋大大学院技術セ)</p>	<p>野007 ヒートポンプによる盛夏期夜間の環境制御がトマトの成育および果実肥大に及ぼす影響 ○大石直記¹・守谷栄樹² (¹静岡農林研,²中部電力(株)エネルギー応用研)</p>	<p>野029 遺伝子組換えイチゴ果実における成熟段階別の目的タンパク質濃度 ○彦坂晶子¹・吉田英生¹・後藤英司¹・松村健²・田林紀子²(¹千葉大院園芸学研究所,²産総研)</p>	<p>野053 キュウリ系統27028930が有するメロン黄化えそウイルスのFuCu05P株に対する抵抗性の遺伝 ○杉山充啓¹・吹野伸子¹・坂田好輝²(¹農研機構野菜茶研,²農研機構九州沖縄農研)</p>
10:45	<p>果008 ニホンナシ果実のショ糖含量に制御するCAPSマーカーの同定 ○畑中隆介¹・入江洋希¹・牛島幸一郎²・村山秀樹³・坂井章浩¹(¹鳥取大農学部,²岡山大学院農学部,³山形大農学部)</p>	<p>果028 ウメ休眠芽における遺伝子発現変動調査用カスタムアレイの作成 ○羽生剛¹・上達弘明²・佐々木隆太²・田尾龍太郎²・染谷拓海³・長山大志³・北本卓也³・矢野健太郎³・藤井浩⁴・清水徳朗⁴・山本俊哉⁴・山根久代²(¹京都大院農学研究所附属農場,²京都大院農学研究所,³明治大農学部,⁴農研機構果樹研)</p>	<p>栽培(リンゴ他) 本條 均</p> <p>果052 リンゴ樹の夏期における蒸発散 ○船橋徹郎¹・小川秀和¹・小松宏光¹(長野果樹試)</p>	<p>野008 温室のヒートポンプ冷暖房運転能力のリアルタイム測定・評価システムの開発 ○安場健一郎¹・黒崎秀仁¹・畔柳武司²・東出忠桐¹・岩崎泰永¹・高市益行¹(¹農研機構野菜研,²近中四農研)</p>	<p>野030 イチゴ養液栽培における培地加温の低コスト化技術 重野貴¹・直井昌彦²・小林泰弘(栃木農試いちご研, 栃木上都賀農振)</p>	<p>野054 温室、ペイトアルファ、日本型キュウリの主要農業形質の品種間差異 ○下村晃一郎¹・吉岡洋輔¹・杉山充啓(農研機構野菜茶研)</p>
11:00	<p>果009 ナシ(<i>Pyrus</i> spp.)における染色体の蛍光染色およびボロームDNAの蛍光<i>in situ</i>ハイブリダイゼーション ○山本雅史¹・高田教臣²・山本俊哉²・寺上伸吾²・滋田徳美²・久保達也¹・富永茂人¹(¹鹿児島大農学部,²農研機構果樹研)</p>	<p>ウメ 石井孝昭</p> <p>果029 ウメ‘露西’の着果部位および果実熟度が品質に及ぼす影響 大江孝明¹・根来圭一¹・竹中正好(和歌山農総技セ果樹試うめ研)</p>	<p>果053 リンゴわい性木木の幹内蒸散流量に及ぼす温度と日射量の影響 ○岩波宏¹・森谷茂樹¹・岡田和馬¹・阿部和幸(農研機構果樹研(盛岡))</p>	<p>トマト3 大石直記</p> <p>野009 CO₂施用と温度管理がトマトの生育に及ぼす影響 ○木野真真沙江¹・根岸直人¹・吉田剛(栃木農試)</p>	<p>イチゴ3 庭田英子</p> <p>野031 ミツバチを花粉媒介者とした施設栽培イチゴにおける自家受粉率の推定 ○吉田裕一^{1,2}・藤原章弘¹(¹岡山大院自然科学研究所,²(有)のぞみふぁーむ)</p>	<p>育種 (アスパラガス、その他) 森下昌三</p> <p>野055 紫アスパラガス由来の緑色個体を交配親とした育成系統の特性と若菜色の発現について ○仁井智己¹・佐久間秀明(福島農総セ)</p>
11:15	<p>遺伝育種(カンキツ) 向井啓雄</p> <p>果010 カンキツ新品種‘黄宝’ ○金好純子¹・古田貴音¹・赤阪信二¹・塩田俊¹・柳本裕子¹・蔵尾公紀¹・川崎陽一郎¹・松下修司²・金谷新作²・長久逸¹・塩田勝紀¹(¹広島総研農技セ,²元広島総研農技セ)</p>	<p>果030 光環境および着果程度の違いがウメ‘露西’果実の紅色着色ならびにアントシアニン含量に及ぼす影響 ○竹中正好¹・大江孝明¹・根来圭一(和歌山農総技セ果樹試うめ研)</p>	<p>果054 開花期から成熟期の土壌水分条件がクリの生育、収量および果実品質に及ぼす影響 ○水田泰徳¹・真野隆司(兵庫農総技セ)</p>	<p>野010 高湿度管理がトマトの生育に及ぼす影響 ○松本佳浩¹・木野真真沙江²・吉田剛²(¹下都賀農振,²栃木農試)</p>	<p>野032 間欠冷蔵処理がイチゴ‘アスカルビー’および‘古都華’の花芽分化に及ぼす影響 ○佐野太郎¹・西本登志¹・穴戸拓樹¹・堀川大輔¹・吉田裕一²(¹奈良農総セ,²岡山大学院農学部)</p>	<p>野056 アスパラガス新品種‘ずっとデルチェ’の育成とその特性 ○元木悟¹・清水時哉¹・酒井浩晃¹(長野野菜花き試北信支場, 長野野菜花き試)</p>
11:30	<p>果011 カンキツ新品種‘津之望’ 吉岡照高¹・野中圭介¹・今井篤¹・深町浩¹・松本亮司²・山本雅史³・國賀武⁴・三谷宣仁¹・裨園直史⁵ (¹農研機構果樹研,²佐賀大農学部,³鹿児島大農学部,⁴農研機構近中四農研,⁵長崎農技セ)</p>	<p>果031 気象要因および果実形質がウメ‘南高’の成熟期における落果に及ぼす影響 ○古屋孝幸¹・根来圭一(和歌山農総技セ果樹試うめ研)</p>	<p>果055 カキ‘刀根早生’ポット樹の生育促進のための高温処理法の検討 ○杉村輝彦¹・脇坂勝(奈良農総セ果樹振セ)</p>	<p>野011 トマトの栽培時期が花房と花房分化葉との位置関係に及ぼす影響 ○高畑健¹・加藤明希¹・倉橋謙介¹・吉田明宏¹・梅田悠佑¹・恩田しおり¹・中村一正¹・峯洋子¹・三浦周行(東京農大農学部)</p>	<p>野033 イチゴの間欠冷蔵処理における品種適応性評価 ○穴戸拓樹¹・西本登志¹・佐野太郎¹・堀川大輔¹・吉田裕一²(¹奈良農総セ,²岡山大院自然科学研究所)</p>	<p>野057 食用ギク在来系統の諸特性一新潟園研保存系統の特性と有望系統の選抜(1)(第二報) ○佐藤淳¹・葛西正則¹・長谷川雅明²(¹新潟農総研園研セ,²新潟農総研高農技セ)</p>
11:45	<p>果012 カンキツにおける遺伝的アルビニズム ○若菜章¹・ブリッタサリデウイ²・金貞希²・森智代²・酒井かおり¹・梶原康平³ (¹九州大院農学研究所,²九州大院生物資源環境科学府,³九州大農学部)</p>	<p>果032 香りを高めた梅酒加工品の開発(第2報)ウメ‘南高’果実の追熟条件の違いが梅酒加工品の香り成分に及ぼす影響 ○大江孝明¹・山崎哲弘²・奥井弥生³・岡室美絵子¹(¹和歌山農総技セ果樹試うめ研,²キリンビール(株),³メルシャン(株))</p>			<p>野034 異なる環境温度および土壌水分条件下で栽培されたイチゴ果実部別アントシアニン分布 ○鈴木なぎさ¹・川上泰弘¹・中山真義²・池田敦¹(¹明治大農学部,²農研機構花き研)</p>	<p>野058 丹波黒大豆エダマメ‘紫ざきん’,‘紫ざきん2号’および‘新丹波黒’の食味に關する諸特性 ○古谷規行¹・野村知未²・松井元子²(¹京都農技セ生資セ,²京都府立大)</p>

第1日 3月20日(日) 10:30~12:00

G会場 マルチメディア2 野菜IV	H会場 1253 花きI	I会場 1353 花きII	J会場 1341 花きIII	K会場 3105 利用I	時間
<p>野 076 トルバム・ビガーのカドミウム濃度の季節変化 ○辻頭光¹・齋藤猛雄¹・荒尾知人²(¹農研機構野菜茶研,²農環研)</p>	<p>花 007 鉢物用マーガレット新品種‘ムーンライト’の育成 ○稲葉善太郎(静岡農林研伊豆農研セ)</p>	<p>花 028 ダリア花卉の純白化に関わる2種類のCHSの同時的転写後分解 細川宗孝¹・○大野翔¹・星野敦²・立澤文見³・土井元章¹(¹京都大院農学研究科,²基生研,³岩手大農学部)</p>	<p>花 048 開花直前の光条件がアサガオの花弁老化に及ぼす影響 ○篠崎良仁・山田哲也・萩原勲・金勝一樹(東京農工大院連合農学研究科)</p>	<p>利 007 栽培環境がサツマイモ葉身ポリフェノール含量に与える影響 ○小林透・倉田理恵(農研機構九州沖縄農研)</p>	10:30
<p>野 077 野菜苗・花き類栽培における‘簡易エプアンド・フロー方式’給水システムの適用(第6報)軟弱野菜の実証栽培におけるGAPの取り組み ○河野靖・安西昭裕・池上正彦・東坂信之(愛媛農林水研)</p>	<p>育種2 稲葉善太郎 花 008 低温伸長開花性に優れる秋ギクのスプレーギク新品種‘佐賀SK1号’・‘佐賀SK2号’・‘佐賀SK3号’・‘佐賀SK4号’および‘佐賀SK5号’の開発 大藪榮興・○宮崎雄太・高取由佳・松村司¹・中村典義²・松尾洋一³・徳永敦子⁴(¹佐賀農試研セ,²佐賀茶試,³佐賀果樹試,⁴佐城農改善セ)</p>	<p>花色2 高村武二郎 花 029 チューリップの青色発現に関わるTgWt1およびTgFER1発現の品種間差異 ○莊司和明・山崎千夏(富山農総技セ農研)</p>	<p>収穫後生理2 山田哲也 花 049 ガーベラの生け花時期及び抗菌剤利用が日持ちに及ぼす影響 ○外岡慎・本間義之・佐藤展之(静岡農林研)</p>	<p>利 008 晩生エダマメ‘安房在来15’における収穫日と食味関連要素の関係 ○安藤利夫・家寿多正樹・日坂弘行(千葉農林総研)</p>	10:45
<p>養液栽培 古川 一 野 078 二酸化炭素マイクロ・ナノバブルを用いた溶液栽培における培養液の殺菌 ○杉浦匡紀¹・小林史幸²・池浦博美¹・佐藤佳奈美³・早田保義¹(¹明治大農学部,²日本獣医生命科学大学応用生命科学部,³明治大院農学研究科)</p>	<p>花 009 キクわい化ウイルスに強い抵抗性を持つキク品種の探索 細川宗孝¹・○鍋島朋之¹・矢野志野布²・大石一史³・土井元章¹(¹京都大院農学研究科,²(有)精興園,³愛知総農試)</p>	<p>花 030 スカシユリ品種の‘モントルー’と‘ルノアール’の交雑に由来するF₁集団におけるアントシアニン色素蓄積とLhMYB12遺伝子の分離 ○山岸真澄¹・吉田祐輔²・中山真義³(¹北海道大院農学研究科,²北海道大院農学院,³農研機構花き研)</p>	<p>花 050 デルフィニウム切り花における糖処理による脱水の低減 ○岡本充智¹・伊藤史朗¹・廣瀬由紀夫¹・渡辺久¹・市村一雄²(¹愛媛農林水産研,²農研機構花き研)</p>	<p>流通・安全性 日坂弘行 利 009 青果物用段ボールの強度特性 ○石川豊・北澤裕明(農研機構食総研)</p>	11:00
<p>野 079 キュウリの養液栽培における量管理法の研究(第4報)土耕栽培との比較 ○種村竜太・遠藤昌伸(新潟農総研園研セ)</p>	<p>花 010 数種のキク品種におけるキクわい化ウイルスのRT-PCRおよびリアルタイムPCRによる検出 ○島嘉輝¹・松下陽介²・向島博行¹(¹富山農総セ園研,²農研機構花き研)</p>	<p>花 031 スイートピー花卉に存在する、アントシアニン色素の発色に対して濃色化および淡色化効果を有する化合物の検出と同定 ○湯本弘子¹・林宜之²・市村一雄¹・中山真義¹(¹農研機構花き研,²農研機構野菜茶研)</p>	<p>花 051 フェレノプシスの花被におけるACC合成酵素遺伝子発現の受粉による上昇 ○市村一雄・仁木朋子(農研機構花き研)</p>	<p>利 010 オゾンマイクロバブルにより沈殿した培養液中の微量要素に対するキレート剤の効果 ○後藤知大・斧実穂・玉置雅彦(明治大農学部)</p>	11:15
<p>野 080 「防根給水ひも」による果菜類の養水分需給バランス栽培法の開発(第16報)砂栽培における春メロンの果実肥大と吸水量ならびに「吸水能」の概念について ○榊田正治¹・山岡史和²・河原雅規¹・村上賢治¹(岡山大院自然科学研究科,²岡山大農学部)</p>				<p>利 011 雨よけホウレンソウ仮想栽培ほ場における大腸菌群の分布傾向 ○阿部弘¹・塚越芳樹²・甲斐憲郎³・鈴木良則¹・木嶋伸行⁴(¹岩手農研セ,²食総研,³宮崎総農試,⁴農研機構野菜茶研)</p>	11:30
<p>野 081 「防根給水ひも」による果菜類の養水分需給バランス栽培法の開発(第17報)盛夏期におけるメロン砂栽培の可能性 ○川原雅規・榊田正治(岡山大院自然科学研究科)</p>					11:45

第2日 3月21日(月・祝) 9:00~10:30

時間	A会場 1121 果樹Ⅰ	B会場 1122 果樹Ⅱ	C会場 1223 果樹Ⅲ	D会場 2101 野菜Ⅰ	E会場 2102 野菜Ⅱ	F会場 マルチメディアⅠ 野菜Ⅲ
9:00	カンキツ1 山本雅史 果013 カンキツ栽培におけるP・D・S管理の実践 ○星典宏・根角博久・齋藤仁蔵・國賀武・島崎昌彦(農研機構近中四農研)	ナシ1 田村文男 果033 ナシ‘幸水’の簡易剪定方法(仮称「徒長枝活用剪定’)の開発 ○菊池知古・山之内利治・宮川恵(東京農総研セ、東京島しょ農水総セ八丈)	ブドウ 本杉日野 果056 袋状ネットの利用による短梢せん定栽培ブドウの鳥獣害対策の省力化 ○東暁史 ¹ ・薬師寺博 ¹ ・見下佳子 ¹ ・浜名洋司 ² (¹ 農研機構果樹研(安芸津)、 ² 広島総研農技セ)	トマト4 吉田 剛 野012 発表取り消し	育種(イチゴ) 山崎 篤 野035 花芽未分化定植がイチゴの生理・形態反応に及ぼす影響 ○竹内隆・河田智明・井狩徹・池ヶ谷篤(静岡農林研)	栽培 (キャベツ・コマツナ) 小松和彦 野059 栽培密度がキャベツの結球重、芯長および芯重割合に及ぼす影響 ○大川浩司(愛知農総試東三河農研)
9:15	果014 点滴かん水施肥方法とマルチ資材の違いがカンキツ苗木の夏枝の発生に及ぼす影響 ○根角博久・星典宏・國賀武・村上要三・瀧下文孝(農研機構近中四農研)	果034 光独立栄養培養法により作出されたニホンナシ‘幸水’、‘豊水’の樹体生育および果実品質 ○大谷義夫 ^{1,3} ・藤井裕二 ² ・望月勇志 ² ・河岡明義 ² ・八巻良和 ⁴ (¹ 栃木農試、 ² 日本製紙アグリ・バイオ研、 ³ 東京農工大院連合農学研究所、 ⁴ 宇都宮大農学部)	果057 ブドウ‘シャインマスカット’におけるGA、CPPUの処理方法が果実品質並びに果皮褐変障害に及ぼす影響 ○持田圭介・内田吉紀(鳥根農技セ)	野013 トマト栽培における初期密植の増収効果 ○古谷茂貴・渡辺慎一・大和陽一(農研機構九沖農研)	野036 四季成り性イチゴ品種の一年生苗の開花に及ぼす採苗時期の影響 ○森下昌三・本城正憲・濱野恵・山崎浩道・矢野孝喜(農研機構東北農研)	野060 マルチ栽培による寒玉キャベツ晩秋まき春どり栽培の栽培期間短縮 ○中村剛・大辻智子・押川純二・吉岡秀樹(宮崎畑園支)
9:30	果015 マルチおよびかん水方法がウンシュウミカン園の消費水量におよぼす影響 山本浩之 ¹ ・中谷章 ¹ ・宮本久美 ¹ ・中桐貴生 ² ・宮崎真人 ² ・堀野治彦 ² (¹ 和歌山農総試セ果樹試、 ² 大阪府大院生環境科学研究所)	果035 ニホンナシにおける「いや地現象」の発生と対策 ○戸谷智明・北口美代子・川瀬信三(千葉農林総研セ)	果058 幼果期におけるブドウ果皮のフラボノイド生成へ及ぼす光質などの影響 ○小山和哉・池田博子・後藤(山本)奈美(酒総研)	野014 送風処理が高湿度環境下のトマト葉面の濡れ状態に及ぼす影響 ○畔柳武司・川嶋浩樹・木下貴文(農研機構近中四農研)	野037 イチゴ5品種における総乾物重と根量との関係および静電容量を利用した根量の推定 ○望月佑哉 ¹ ・鈴木栄 ¹ ・本條均 ² ・荻原勲 ¹ (¹ 東京農工大院農学府、 ² 宇都宮大農学部)	野061 化成肥料および牛糞肥連用圃場におけるキャベツの品質比較(第2報)年度反復による再現性の検証 ○國久美由紀 ¹ ・徳田進一 ¹ ・村上健二 ¹ ・浦上敦子 ¹ ・相澤証子 ¹ ・中野有加 ¹ ・岡田邦彦 ¹ ・東尾久雄 ² (¹ 農研機構野菜茶研、 ² 茨城大農)
9:45	果016 ウンシュウミカン園における消費水量の推定 ○山本浩之 ¹ ・中谷章 ¹ ・宮本久美 ¹ ・宮崎真人 ² ・中桐貴生 ² ・堀野治彦 ² (¹ 和歌山農総試セ果樹試、 ² 大阪府大院生環境科学研究所)	果036 ニホンナシの改植障害要因に関する調査 ○須川瞬・西川祐司(広島総研農技セ)	果059 着色開始期前後の果房への温度処理がブドウ‘安芸クイーン’の果皮アントシアニン生成とアブシシン酸含量に及ぼす影響 ○見下佳子・三谷宣仁・東暁史・薬師寺博(農研機構果樹研(安芸津))	野015 Partial rootzone drying 法によるトマトの高糖度果実の生産 ○林浩之 ¹ ・小川敏史 ² ・豊福恭子 ² ・田口多喜子 ¹ (¹ 秋田農技セ農試、 ² 秋田県立大生物資源科学部)	野038 イチゴの五倍体雑種(<i>Fragaria vesca</i> × <i>F. × ananassa</i>)に由来した純系十倍体系統間における一代雑種の遺伝解析 ○岩田貴志 ¹ ・柳智博 ¹ ・野口裕司 ² ・曾根一純 ³ (¹ 香川大農学部、 ² 農研機構野菜茶研、 ³ 農研機構九沖農研)	野062 終日ダクト送風処理が葉菜類の生育および品質に及ぼす影響 ○山崎嘉嘉 ¹ ・岩根真幸 ² ・木口洋輔 ² ・岡田清嗣 ¹ ・嘉悦佳子 ¹ ・森川信也 ¹ (¹ 大阪環状水総研 ² (株)日本医工器械製作所)
10:00	カンキツ2 草場新之助 果017 透湿性マルチシート被覆と点滴かん水の連年処理が主幹形仕立てのウンシュウミカン‘石地’の樹体生育、収量および果実品質に及ぼす影響 ○川崎陽一郎・浜名洋司・塩田勝紀(広島総研農技セ)	ナシ他2 中村ゆり 果037 ニホンナシ‘あきづき’の果皮色変化と果実品質 ○塩田あづき ¹ ・川瀬信三 ¹ ・中口俊哉 ² (¹ 千葉農林総研セ、 ² 千葉大工学部)	ブルーベリー他 荻原 勲 果060 ブルーベリー培養苗における強光照射下でのポリフェノール生成関連遺伝子の発現解析 ○布施拓市 ¹ ・鉄村琢哉 ² ・西脇亜也 ² ・國武久登 ² (¹ 宮崎県産業支援財団、 ² 宮崎大農学部)	トマト5/病虫害 古谷茂貴 野016 トマトのツヤなし果発生に及ぼす着果ホルモン濃度の影響 ○半田有宏・吉田剛(栃木農試)	育種(ネギ類) 山下謙一郎 野039 ダイコンひげ根黒変症に対する抵抗性遺伝資源の探索 ○町田剛史・鈴木達哉・横山とも子・吉田俊郎(千葉農林総研セ)	栽培(アスパラガス) 仁井智己 野063 アスパラガス1年養成株における根株重および貯蔵根Brix糖度の地域間差 ○山口貴之 ¹ ・元木悟 ² ・浦上敦子 ³ ・松永邦則 ⁴ ・國久美由紀 ³ ・植野玲一郎 ³ ・山崎篤 ⁶ ・芳賀紀之 ⁷ ・常盤秀夫 ⁸ ・山田文典 ⁹ ・酒井浩晃 ² ・瀧澤民雄 ¹⁰ ・池内隆夫 ¹¹ ・渡辺慎一 ¹² ・新里仁克 ¹³ ・遠山智之 ¹⁴ ・鈴木卓 ¹⁴ ・小泉丈晴 ¹⁵ ・北澤裕明 ¹⁶ (¹ 岩手農研セ、 ² 長野野菜花き試、 ³ 農研機構野菜茶研、 ⁴ バイオニア・エコサイエンス(株)、 ⁵ 北海道原環セ、 ⁶ 農研機構東北農研、 ⁷ 福島農総セ会津、 ⁸ 福島農総セ浜、 ⁹ 群馬農技セ中山間、 ¹⁰ JAちくま、 ¹¹ 香川農試三木、 ¹² 農研機構九州沖縄農研、 ¹³ 沖縄農研セ、 ¹⁴ 北海道大院農、 ¹⁵ 群馬農技セ、 ¹⁶ 農研機構食総研)
10:15	果018 主幹形仕立てのウンシュウミカン‘石地’における摘果部位の違いが生育、光合成産物の分配、作業能率に及ぼす影響 ○塩田俊・川崎陽一郎・塩田勝紀(広島総研農技セ)	果038 ニホンナシ‘あきづき’に発生する果肉褐変症状の組織形態学的特性 ○大川克哉 ¹ ・板橋亮 ² ・小原均 ³ ・近藤悟 ¹ (¹ 千葉大院園芸学研究所、 ² 千葉大院園芸学部、 ³ 千葉大環境健康フィールド科学セ)	果061 ハイブッシュ・ブルーベリーおよびスノキ属野生種果実のアントシアニン含量と抗酸化能との関連 ○横田蘭 ¹ ・田中津津美 ¹ ・脇田陽一 ² ・稲川裕 ³ ・鈴木卓 ¹ ・鈴木正彦 ¹ (¹ 北海道大院農、 ² 北海道林試、 ³ 北海道農研本部)	野017 単為結果性トマトにおける種子形成阻害要因の解明 ○滝澤理仁・片岡圭子・北島宜(京都大院農学研究所)	野040 染色体を操作したネギ属植物における転写産物量の変化が代謝産物の増減に及ぼす影響について ○中島徹也 ¹ ・谷口成紀 ² ・増崎真一 ³ ・山内直樹 ¹ ・執行正義 ¹ (¹ 山口大農学部、 ² (株)トリコ、 ³ 山口県農科投研)	野064 ホワイアアスパラガス若茎中のprotodiocin含量に及ぼす軟白方法およびストレス処理の影響 ○前田智雄 ¹ ・小村品紀 ¹ ・小野いづみ ¹ ・本多和茂 ¹ ・地子立 ² ・白井正利 ³ ・橋本寛隆 ³ ・山口貴之 ⁴ (¹ 弘前大農学生命科学部、 ² 北海道大院環境科学院、 ³ (株)ファームホロ、 ⁴ 岩手農研セ)

G会場 マルチメディア2 野菜IV	H会場 1253 花きI	I会場 1353 花きII	J会場 1341 花きIII	K会場 3105 利用I	時間
<p>栽培(メロン) 加納恭卓</p> <p>野 082 連作圃場におけるメロンの仕立て法と果実肥大、外観、糖度および収量 ○吉田俊郎・大塚英一(千葉農林総研セ)</p>	<p>重イオンビーム 半田 高</p> <p>花 011 重イオンビームを用いたキルタンサス雌性配偶子のDNA損傷応答解析 ○平野智也¹・高城啓一²・星野洋一郎³・阿部知子¹(¹理研仁科加速器研セ,²若狭湾エネルギー研セ,³北大北方生物園セ)</p>	<p>日長処理 稲本勝彦</p> <p>花 032 ストックの冬春出し栽培における定植時期別の長日処理効果 ○佐藤武義¹・西村林太郎²・酒井友幸¹・伊藤政憲¹(¹山形農総研セ園試,²山形県庁)</p>		<p>収穫後生理・果実特性 櫻井直樹</p> <p>利 012 トマトβ-ガラクトシダーゼ(TBG)1と3の酵素特性の違い ○石丸恵¹・井口悟²・小堀洋平³・枝真広³・阪本龍司⁴(¹近大生物理工,²阪大院理学,³大阪府大院理学,⁴大阪府大院生命科学)</p>	9:00
<p>野 083 ポット試験における土壌消毒剤の処理量及び土壌水分がメロンの生育に及ぼす影響 ○押切浩江¹・福田寛²・石垣賢治²・水野真二¹・大泉利勝¹(¹千葉農林総研セ暖地園研,²千葉長生農林振セ)</p>	<p>花 012 DNAマーキングによるシンビジウムの品種判別技術の開発(第4報) ○古川浩二¹・岩澤洋樹¹・阿部知子²・田畑哲之³・松山知樹⁴(¹(株)向山蘭園,²理研・仁科セ,³かずさDNA研,⁴理研・基幹研)</p>	<p>花 033 ストックの冬出し作型における長日処理が開花と切り花品質に及ぼす影響 ○西村林太郎¹・佐藤武義²・大川秀樹³・森山巖興³・金山喜則⁴(¹山形県庁,²山形園試,³東芝ライテック(株),⁴東北大院農学研究科)</p>		<p>利 013 貯蔵中のエチレン処理がカボチャ果実の品質に与える影響 ○山下耕一郎・横谷亮太・西尾恵・坂野綾・道端沙織・万仲重人(ホクレン農総研)</p>	9:15
<p>野 084 遮光剤塗布とミストファンの併用が抑制栽培メロンの生育に及ぼす影響 位田晴久¹・八木俊明¹・都甲洋佑(宮崎大農学部)</p>	<p>DNA マーカー 小野崎 隆</p> <p>花 013 スイートピーにおける連鎖地図の作成と花色および着輪数のQTL解析 ○前畑祐喜¹・中村薫¹・杉田直¹・明石良²・都司定雄¹・長田龍太郎¹(¹宮崎総農試,²宮崎大農学部)</p>	<p>花 034 日長処理と親株の茎頂培養が冬切りダリアの到花日数と切り花品質に及ぼす影響 ○角川由加¹・仲照史¹・浅尾浩史¹・藤井祐子¹・細川宗孝²(¹奈良農総セ,²京大院農学研究科)</p>		<p>利 014 ナシ果実における成熟中のメタボローム解析 ○村山秀樹¹・小林雄太¹・板井章浩²・齊藤和季^{3,4}・及川彰^{1,3}(¹山形大農学部,²鳥取大農学部,³理研PSC,⁴千葉大院薬学研究院)</p>	9:30
<p>野 085 ヒートポンプによる夏期の夜間冷房が温室メロンの生育・果実品質に与える影響 ○大須賀隆司・鈴木基嗣(静岡農林研)</p>	<p>花 014 SSR解析におけるハナショウブ園芸品種群とノハナショウブ野生集団との関係について ○森敏敏¹・Lian Chunlan²・大澤良³・田淵俊人⁴・半田高²(¹明治大院農学研究科,²東京大アジア生物資源環境科学研究セ,³筑波大院生命科学部,⁴玉川大農学部,⁵明治大農学部)</p>	<p>栽培・作型1 後藤丹十郎</p> <p>花 035 バクロプロトラゾールの茎葉散布処理がシクラメンの品質に及ぼす影響 ○松本哲朗(山口県農林総研セ)</p>		<p>利 015 低温処理がセイヨウナシ果実のエチレン関連遺伝子の発現におよぼす影響 ○新山雄基¹・板井章浩²・豊増知伸¹・村山秀樹¹(¹山形大農学部,²鳥取大農学部)</p>	9:45
<p>栽培(メロン・キュウリ) 杉山充啓</p> <p>野 086 メロン果実の果肉細胞の大きさ、糖集積に及ぼすシュートヒーティングの影響 ○松本淳²・真館辰弥¹・青木佑介¹・加納恭卓²(¹石川県立大生物資源環境学部,²石川県立大生物資源環境学研究科)</p>	<p>花 015 サクラの原種および品種の形態による分類と親の推定 ○細木高志・佐藤亜子・小野郁子・浅尾俊樹(鳥根大生物資源科学部)</p>	<p>花 036 地中熱交換システムを利用したデルフィニウムの夜冷育苗、定植後の局所冷房の効果 ○生方雅男¹・五十嵐一朗²・井出清貴³(¹北海道花野技セ,²(株)昭和マテリアル,³(株)セキスイ化学北海道)</p>		<p>物性評価 村山秀樹</p> <p>利 016 音響振動法によるマンゴー‘アウウィン’の果肉硬度の評価 ○文室政彦¹・櫻井直樹²(¹近畿大附属農場,²広島大院生物園科学研究科)</p>	10:00
<p>野 087 メロン果実の成熟過程における糖の代謝様式 ○古川一・竹浦里菜・米原明家・山内麻記子・深澤孝章(大阪府立大生命環境科学部)</p>	<p>遺伝子解析1 河鱈実之</p> <p>花 016 カーネーション花弁におけるクチクラ層を構成するワックス成分関連遺伝子のcDNAクローニングと発現解析 ○川原田将也¹・原田太郎²・野村佳宏³・森田重人^{3,4}・佐藤茂^{3,4}(¹京都府大農学部,²茨城農総セ園芸研,³京都府大院生命環境科学研究科,⁴京都農資セ)</p>	<p>花 037 超微粒ミスト噴霧が夏期の施設環境および花壇苗に及ぼす影響 ○池内都¹・二村幹雄¹・和田朋幸¹・小川理恵¹・大石一史(愛知農総試)</p>		<p>利 017 音響振動法を用いたスイカの肉質特性‘シャリ’感の定量評価 ○岩谷真一郎¹・大澤雅子²・橋詰利治²・櫻井直樹¹(¹広島大院生物園科学研究科,²(株)萩原農場)</p>	10:15

第2日 3月21日(月・祝) 10:30～12:00

時間	A会場 1121 果樹Ⅰ	B会場 1122 果樹Ⅱ	C会場 1223 果樹Ⅲ	D会場 2101 野菜Ⅰ	E会場 2102 野菜Ⅱ	F会場 マルチメディアⅠ 野菜Ⅲ
10:30	<p>果 019 夏秋季の高温がウンシュウミカンの浮皮に及ぼす影響(第2報) ○佐藤景子・深町浩・生駒吉識(農研機構果樹研)</p>	<p>果 039 ニホンナシ果実の‘みつ症’発生機構に関する研究(第5報)ニホンナシ‘豊水’みつ症組織に特異的なメタロチオネイン様タンパク質遺伝子の解析 ○櫻井洋平¹・江幡麻衣¹・郷内武²・高津康正²・霞正一^{2,3}・本間貴司¹・東尾久雄¹・井上栄一¹(茨城大農学部,²茨城農総ゼ生工研,³茨城鹿島特産指導所)</p>	<p>果 062 フェザ-発生と誘引処理によるオウトウ実生の開花促進 ○久保隆¹・藤村泰樹¹・山道和田¹・小森真男²・壽松木章²(¹青春産技セリんご研,²岩手大農学部)</p>	<p>野 018 アブラナ科野菜根こぶ病菌(<i>Plasmodiophora brassicae</i>)に対するソバとソバ殻の発芽促進効果 ○鈴木智統¹・山崎利喜男²・岡部蘭子¹・北村嘉邦¹・畠中洗¹・大井美知男¹(¹信州大院農学研究科,²日穀製粉(株))</p>	<p>野 041 シャロット遺伝資源における化学成分、抗酸化特性およびフザリウム病害抵抗性の変異について ○Vu Quynh Hoa¹・松本巳紗都²・小野靖憲²・伊藤真一²・山内直樹²・執行正義²(¹鳥取大院連合農学研究科,²山口大農学部)</p>	<p>野 065 培土量がアスパラガスの収量に及ぼす影響 ○酒井浩晃¹・岡沢政英^{2*}・重盛典¹(¹長野野菜花き試,²佐久農改普セ,[*]長野農政部園畜産課)</p>
10:45	<p>果 020 レモン果実が受ける収穫から選果終了までの衝撃と貯蔵中の腐敗発生との関係 ○池田裕朗^{1*}・石川豊^{2*}・赤阪信二¹・塩田俊¹・北澤裕明²(¹広島総研農技セ,²農研機構食総研,広島総研西部工技セ)</p>	<p>果 040 種子なしビワ‘希房’果実におけるさび症状の発生 ○吉田明広¹・葛木康徳¹・佐藤三郎²・八幡茂木³・大谷徹¹・高橋侑美佳⁴・赤山喜一郎¹(¹千葉農林総研暖地園研,²千葉農大大学校,³元千葉農林総研暖地園研,⁴安房農林振興セ)</p>	<p>果 063 考案した主枝更新剪定法がイチジク樹の生育と果実生産に及ぼす影響 ○細見彰洋・磯部武志・三輪由佳(大阪環境農林水産総研)</p>	<p>野 019 ネコブセンチュウに対する対抗植物及びサツマイモ品種の違いによる抵抗性 ○千吉良敦史¹・高野幸成²・川上敬志¹(¹千葉農林総研セ,²山武農林振セ)</p>	<p>野 042 タマネギおよびシャロット倍加半数体系統間におけるDNAマーカーの開発とそれらのF₂雑種を用いたマッピング集団の作出 ○岩田智志・中島徹也・山内直樹・執行正義(山口大農学部)</p>	<p>野 066 最終収穫年におけるホワイトアスパラガス長期収穫体系の検討 ○地子立¹・白井正利²・橋本寛隆²・木島誠二²・前田智雄³・荒木肇⁴(¹北海道大院環境科学院,²(株)ファームホロ,³弘前大農学生命科学部,⁴北海道大北方生物園セ)</p>
11:00		<p>ナシ 3 近藤 悟 果 041 シアナミド剤及び高温処理がニホンナシの自発休眠覚醒と発芽・開花に及ぼす影響 ○吉川英治レオナルド¹・本條均²・山根健治²(¹東京農工大院連合農学研究科,²宇都宮大農学部)</p>	<p>モモ 山根崇嘉 果 064 副梢の摘心、ジベレリン処理および光反射シートの敷設が、樹体ジョイント仕立てに用いるモモ苗木の生育に及ぼす影響 ○浜名洋司・須川瞬・中元勝彦(広島総研農技セ)</p>	<p>遺伝子解析 / 遺伝子組換え 畠山勝徳 野 020 カドミウム低蓄積ナス科植物トルバムの遺伝子発現解析 ○山口博隆¹・荒尾知人²・大山睦男¹・布目司¹・宮武宏治¹・根来里美¹・福岡浩之¹(¹農研機構野菜茶研,²農環研)</p>	<p>栽培(ネギ類) 塚崎 光 野 043 アミノ酸発酵副産物の施用時期および施肥量がタマネギ生産に及ぼす影響 ○森太郎¹・宮地利英²・佐藤武²・駒井史訓¹(¹佐賀大農フィールドセンター,²味の素(株))</p>	<p>栽培(アスパラガス・ホウレンソウ) 元木 悟 野 067 アミノ酸発酵副産物の施用時期および施肥量がアスパラガス半促成長期どり栽培における夏秋季の異常若葉の発生に影響を及ぼす要因 ○池内隆夫(香川農試三木)</p>
11:15		<p>果 042 三重県の2010年の気象条件下におけるニホンナシ果実の生育について ○高山宜大¹・伊藤寿¹・村田博則¹・山上尚史¹・竹内雅己²・西川豊³(¹三重中央農改セ,²三重伊勢農改セ,³三重農研)</p>	<p>果 065 モモ果実形質の環境分散成分の推定 ○佐藤守¹・小野勇治²・木幡栄子³・佐久間宣昭¹(¹福島農総セ果樹研,²福島農総セ,³東北農林安達普)</p>	<p>野 021 トマト花梗部の離層形成制御に関わる遺伝子群の探索 ○中野年継¹・金原淳司²・藤澤雅樹¹・北川麻美子²・春見隆文³・伊藤康博¹(¹農研機構食総研,²カゴメ総研,³日本大生物資源科学部)</p>	<p>野 044 炭酸ガス施用がニラの収量、品質に及ぼす影響 ○齋藤容徳¹・大島一則²(¹栃木農試,²上都賀農振)</p>	<p>野 068 ハウス栽培ホウレンソウの盛夏期作の生育におよぼす冬期前作の影響 ○森山真久(農研機構東北農研)</p>
11:30		<p>果 043 ニホンナシの自家不和合性に関する研究(第55報)重金属塩処理による‘幸水’の着果促進と花柱RNase活性阻害 ○平塚伸・堀川晃宏・名田和義(三重大院生物資源学研究科)</p>	<p>果 066 和歌山県におけるモモ‘白鳳’の高糖度果実生産要因 ○和中学¹・堀田宗幹¹・林恭弘²・橋本博史^{3*}・井上博仁^{3**}・中島康晴⁴・宮脇弘樹⁵(和歌山農総技セ果試かき・もも研,和歌山農総技セ農試,那賀振興局,JA紀の里,JA和歌山農農,[*]和歌山農大就農支援セ,^{**}和歌山県からJA和歌山県農へ派遣)</p>	<p>野 022 組換えトマトでのミラクリン生産をさらに改良・高度化するための基盤技術開発(第4報) ○加藤一幾¹・丸山真一²・平井正良¹・棚瀬(日和佐)京子¹・溝口剛¹・後藤英司²・江面浩¹(¹筑波大院生命環境科学研究科,²千葉大院園芸学研究科)</p>	<p>野 045 粉砕もみ殻を用いた葉ネギ種子のプライミング処理期間中の数種温度条件における最適処理日数 ○小熊光輝・井手治・國武みどり・龍勝利(福岡農総試)</p>	<p>野 069 業務用ホウレンソウにおける品種および換気方法が生育、収量およびチップパーンの発生に及ぼす影響 ○大木浩・井上満[*]・大泉利勝(千葉農林総研セ,JA千葉みらい)</p>
11:45		<p>果 044 ニホンナシの自家不和合性に関する研究(第56報)重金属塩処理による‘幸水’の無受粉・無摘果栽培の試み ○林田大志・平塚伸・名田和義・前川豊孝(三重大院生物資源学研究科)</p>	<p>果 067 モモせん孔細菌病(<i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>pruni</i>)に対するモモ由来香氣成分およびその前駆体・青酸配糖体の影響 ○齋藤隆徳・藤井奈加子・瀬古澤由彦・菅谷純子・弦間洋(筑波大院生命環境科学研究科)</p>		<p>野 046 定植前リソ酸処理がネギの生育および収量に及ぼす影響 ○村山徹・宮沢佳恵(農研機構東北農研)</p>	

第2日 3月21日(月・祝) 10:30～12:00

G会場 マルチメディア2 野菜IV	H会場 1253 花きI	I会場 1353 花きII	J会場 1341 花きIII	K会場 3105 利用I	時間
<p>野 088 緑肉系および白肉系露地ネットメロンのメタボローム解析による品種特性評価 ○古野伸典¹・村山秀樹²・富田淳美³・及川彰^{2,3,4} (¹山形庄内農技普課産地研,²山形大農学部,³慶応IAB,⁴理研PSC)</p>	<p>花 017 カーネーション花組織におけるABAの生成と代謝に関わる遺伝子のcDNAクローニングと発現解析 ○野村佳宏¹・川原田将也²・原田太郎³・森田重人^{1,4}・佐藤茂^{1,4}(¹京都府大院生命環境科学研究科,²京都府大農学部,³茨城農総セ園芸研,⁴京都農資セ)</p>	<p>花 038 高温期の細霧冷房がバラ切り花の生産性および形質に及ぼす影響 ○梶原真二・石倉聡・原田秀人・福島啓吾(広島総研農技セ)</p>		<p>利 018 弾性指標を用いたアボカドのサイズ・硬さ別の食べ頃予測 ○秋元秀美¹・櫻井直樹²・岩谷真一郎²・高橋昌之³ (¹広島大産学地域連携セ,²広島大院生物園科学研究科,³(株)フレッシュシステム)</p>	10:30
<p>野 089 高温下におけるキュウリの光合成反応と根からの糖滲出増加との関係—外生スタクロースおよびHeat girdle処理の効果— ○名田和義・松浦勇生・長菅輝義・平塚伸(三重大院生物資源学研究所)</p>	<p>花 018 次世代シーケンサーを利用したカーネーションのEST解読 ○棚瀬幸司¹・西谷千佳子²・磯部祥子³・田端哲之³・大宮あけみ¹・小野崎隆¹ (¹農研機構花き研,²農研機構果樹研,³かずさDNA研)</p>	<p>栽培・作型2 梶原真二</p> <p>花 039 カーネーション栽培における土壌溶液と植物体の無機成分、植物体形質の関係 ○山中正仁^{1,2}・後藤藤十郎²・玉木克知¹・水谷祐一郎¹・福嶋昭¹(¹兵庫農総セ,²岡山大院自然科学研究科)</p>		<p>利 019 二方向引っ張り試験による収穫時期の異なるキャベツ品種でのカットキャベツ加工性評価 ○神山かおる¹・島田宏美¹・田中威江¹・岡部蘭子²(¹農研機構食総研,²信州大農学部)</p>	10:45
<p>栽培(果菜類) 古野伸典</p> <p>野 090 太陽エネルギーを利用したスイカ果実加温装置の開発 ○加納恭卓¹・池下洋一²・西川寛³・青木佑介¹・真館辰弥¹(¹石川県立大生物資源環境学部,²石川農総研セ,³西川善(株))</p>	<p>遺伝子解析2 棚瀬幸司</p> <p>花 019 トクログキョウの花弁成長に伴う遺伝子発現プロファイルのマイクロアレイ解析 ○河鱈実之・宮本健太郎(東京大院農学生命科学研究科)</p>	<p>花 040 熱融着性ポリエステル繊維強化培地を用いたポットレス花増産生産.10.リン含有肥料混和培地における黄変改善 ○白神裕介¹・後藤藤十郎¹・大橋佑司²・森下照久²・藤井一徳²(¹岡山大院自然科学研究科,²みのる産業)</p>			11:00
<p>野 091 軟X線照射花粉を用いた種なしスイカ栽培における山形県内の適応作型と、年次変動がしいなに及ぼす影響 ○森和也¹・高橋玲子¹・齋藤克哉¹・石山久悦²(¹山形農総研セ園芸,²山形村山総支庁北村山農技普,山形病害虫防除所)</p>	<p>花 020 イネアロリゲン遺伝子(Hd3a)導入キク‘神馬’のロゼット相、幼若相および感光相での開花特性 ○浅尾浩史¹・長谷部千絵²・玉置祥二郎²・仲照史¹・辻寛之²・島本功²(¹奈良農総セ,²奈良先端大バイオ)</p>	<p>花 041 気温および日射量がポットハボタン‘ウィンターチェリー’の葉数および着色に及ぼす影響 ○水谷祐一郎・山中正仁・玉木克知・福嶋昭(兵庫農総セ)</p>			11:15
<p>野 092 ニガワリの無加温半促成短期栽培における多収穫のための整枝法 ○岩本英伸¹・位田晴久²(¹熊本農研せい業研,²宮崎大農学部)</p>	<p>花 021 デルフィニジン型アントシアニンを蓄積する遺伝子組換えキクの作出に適したF35H発現ベクター ○野田尚信¹・岸本早苗¹・間竜太郎¹・石黒加奈子²・田中良和²・大宮あけみ¹(¹農研機構花き研,²サントリー植物科学研)</p>				11:30
<p>野 093 温度および光照射が彩色期のパプリカ果実の着色にあたる影響 ○吉田千恵(宮城農園総研)</p>					11:45